



☎ 591-7376
akitojcp@livedoor.com

市議会議員 中野あきと事務所ニュース

みどりと清流

2002年9月発行 第10号(2版)

日本共産党 中野あきと事務所
日野市南平7-6-72 ☎599-3350
〒191-0041 発行責任者 小山敏正

しんぶん 赤旗

日刊紙 一か月 2900 円
日曜版 一か月 800 円

お申し込みは
南多摩事務所
☎582-0505
又は、中野事務所へ

生活・法律相談など
お気軽にお立ち寄り下さい

高幡 南平駅
中野あきと事務所

ヤマダデンキ

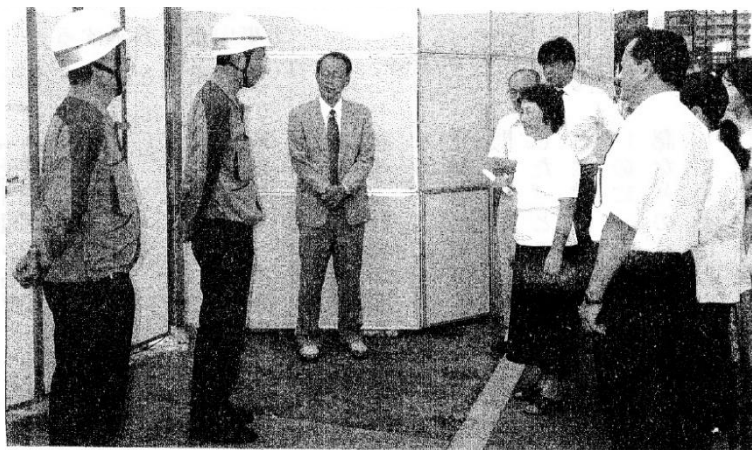
北野街道

“住宅地に変電所建設を強行するな” 東電本社に 地元住民が要請

東電変電所建設問題 日本共産党井上美代参議院議員、中谷好幸・中野あきと市議が同行



工事中止を求めて集まった周辺住民の人々



工事再開に抗議

高幡地区に東電が強行している変電所の建設工事について、地元住民でつくる「高幡環境を守る会」の代表は五日、日本共産党の井上美代参院議員、中谷好幸、中野あきと市議と共に東電本社と資源エネルギー庁を訪ね、工事を中断し住民と話し合うよう申し入れを行ないました。

この問題は、六月の市議会でも中野あきと市議が、住民の切実な要求にもとづいて質問を行ない、市としての再度の対応を強く求め、それを受けて馬場市長が東電と折衝した結果、工事はストップし東電と住民との話し合いが再開しました。しかし東電は住民の合意が得られていないにもかかわらず九月二日に工事の再開を強行しました。

住民の抗議と市の対応に

東電 再度工事を中断

九月二日、「工事再開」に対する抗議のため、大勢の住民、市民が高幡地区の現場に集まり、東電関係者に工事の中止を迫りました。日本共産党など市議会議員も駆けつけ、議員からの要請で日野市のまちづくり推進部長・主幹も現場を訪ね、文書で『地中化』の検討を申し入れました。

しかし東電は翌三日、市の提案を拒否、市側は更に四日「協議と工事の中止」を申し入れました。

五日の「高幡の環境を守る会」代表の東電本社への要請や市の対応などをへて東電多摩支店は六日、日野市役所におもむき、『地中化』の検討と、工事の一時中断を表明しました。

多くの方の理解を得ている?

新聞報道によると東電は「多くの方には理解を頂いている」とし、「反対はごく一部」であるかのような説明をしています。しかし、話し合いの対象とされている周辺住民のなかで、建設に同意しているのは一世帯、あとは全部反対であるのが実態です。

高幡地区の東電変電所の建設工事問題が、新聞で再三報道され、市民の関心をよんでいます。

今回の『みどりと清流』は、予定していた記事の一部を変更し、変電所問題と豊田南のマンション建設問題に絞り発行しました。

【編集係】

改めて問われる『電磁波』の危険

なぜ、新しい基準が出るまで待てないのか

八月二十四日の『朝日新聞』は、一面トップで国立環境研究所と国立がんセンターが、WHO（世界保健機関）への研究協力の一環として実施した全国疫学調査の結果として、4 mG（ミリガウス）以上の環境では、小児白血病の発生率が二倍以上になったことを報道しました。

東電は、過去のWHOなどの基準をもとに「変電所の電磁波の強さは敷地境界でも30 mG程度で、健康への悪影響は全くない」としてきましたが、この説明に



工事中止を要求する
中谷市議と住民・市民

「原発事故かくし」の“企業体質” 市との約束も平気でほごに

電磁波の問題と共に、住民に大きな怒りをかったのが「住民の同意なしに工事の強行はしない」という、市との協議の結果を平気でほごにする東電の態度です。これは市の記録でも明確です。

住民側の追及に対して東電は「理解が得られるよう住民との話し合いは行なうといったが、同意とまではいっていない」とかわそうとし、「それならそちらの記録を出せ」といわれても「そういう記録はない」とつっぱねてくる不誠実さです。



【豊田南の高層マンション建設問題】

まちづくりのルールを破壊するな



豊田三丁目の区画整理地域で、高さ53メートルのエンピツのような高層マンションを建設する計画が明らかに。この五月から開発業者と周辺住民との間で紛争になっていました。ところが開発業者は、住民の合意もないのに一方的に建築確認などの法的手続きをしていたことが明らかになり、住民の憤激をよんでいます。

市も自ら決めた

ルールを守るべき

市は「民間の事務所に申請されたので知らなかった」といっていますが、市も『指導要綱』に定める周辺住民

【共産党豊田南後援会主催】 緊急相談会での 住民の方たちの声

☆ 市長は「私の関知しないところで進んだ」などと言いつけている。それで済まされるのか。

☆ 市の職員がきて「区画整理に反対か」「（マンションが）気に入らないなら換地したら」などという。「区画整理をストップする」というのは脅しではないか。

☆ 「区画整理で土地の評価が上がる」と市長は言うが、それは売る段階ではじめて生じる話。住み続けようという住民にとっては（こんなマンションをつくられたのでは）とてもじゃない。ここであきらめるわけにはいかない。

☆ これでは区画整理の意味が問われる。経済的物差しだけでは済まされない。